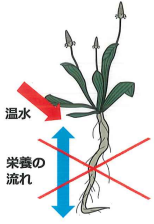


温水除草のメカニズム

温水除草とは、温水により植物の根のタンパク質構造を変異させ、育成を妨げる除草方法です。



温水除草前

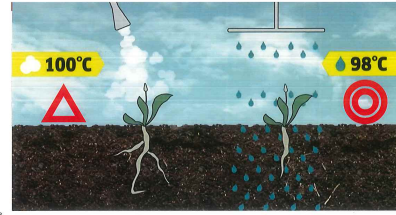


温水除草後



温水除草のメカニズム

最も効果的な温度の温水を地中に染み込ませることが鍵です。



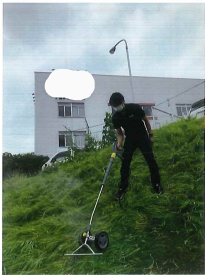
83°C~100°C

温水除草の効果検証

段階的に雑草防除効果が表れます

2022年7月12日 10:00-11:00

八王子営業所様 敷地にて実施



温水除草風景



99°Cの熱湯散布



温水除草風景

温水除草の効果検証

段階的に雑草防除効果が表れます

2022年7月12日 10:00-11:00

八王子営業所様 敷地にて実施



2022年7月12日 温水除草後



2022年7月15日 AM09:00

温水除草は年間3回実施

1回目 4月~5月
生育初期に散布
(気温が20℃前後)

発芽時に温水を散水。種子の発芽成長を阻害することができるので、より効果的。



※上記記載の月は理想目安

2回目 6月~7月
(作業時間は短縮)

初回の温水除草後に発芽した種子の根にダメージを与える。



3回目 9月~10月
(作業時間はさらに短縮)

2回目の温水除草後に発芽した種子の根にダメージを与える。



温水除草のメリット

環境負荷を低減



作業者の負担削減



除草コストを抑制



温水除草のメリット

薬害の心配がない、環境・人に優しい工法

環境負荷を低減



近隣に農地や学校、
民家などがある場合、
除草剤の散布は制限されます。
薬剤を使わない温水除草なら、
環境・人に優しく安全です。

11

温水除草のメリット

草刈に伴う怪我・事故のリスクを低減

作業者の
負担削減



飛び石



作業不注意



作業不手際

草刈り機器による作業は、初心者には慣れも必要で、怪我や事故のリスクも注意が必要な作業です。温水除草なら**同様な怪我や事故は招きません。**

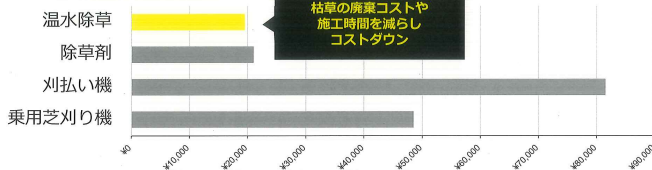
12

温水除草のメリット

廃棄コスト抑制

除草コストを抑制

1,000㎡当たりの除草施工費 (当社調べ)



温水除草システムは草刈りと異なり雑草を「枯らす」ため、
除草後の廃棄物を削減できます。
そのため、温水除草なら他の工法と比べて施工費が抑えられます。

13

温水除草のメリットのまとめ

環境負荷を
低減



作業者の
負担削減



除草コストを
抑制



薬品(除草剤・農薬)
を使用しないため、
環境負荷が少ない。



近隣からの苦情を
免れる上、企業の
SDGs貢献に繋が
ります。

14

温水除草のメリットのまとめ

環境負荷を
低減



作業者の
負担削減



除草コストを
抑制



事故・怪我が減り安全。天気によらず、いつでも作業可能。

機械を使うのが難しい場所でも簡単に除草できる。

根まで熱が到達し、雑草を効率的に根絶やしできる。

作業者の負担が軽減され、草刈作業員の確保も容易に。

人力の除草作業が安全かつラクになります。

除草作業の頻度が減り、人件費抑制も。

98℃

15

温水除草のメリットのまとめ

環境負荷を
低減



作業者の
負担削減



除草コストを
抑制



温水で根から雑草を枯らすため
廃棄物を削減。

温水高圧洗浄機は
除草以外のシーンでも使用可能。

雑草の回収工数および廃棄コストも削減。

- ・高圧洗浄
- ・車両系の脱脂洗浄
- ・除雪、融雪
- ・災害時での温水の提供



16